



ホプラチェンバロ
クリスマス
コンサート

M.ド.ラ. バール (1670-1743)
組曲 ト長調

G.B. ヴィヴィアーニ (1638-ca1692)
トランペットソナタ第2番

D. ガブリエリ (1640-ca1690)
トランペットソナタ第5番 他

12月23日 (金)
13:30~

北海道大学総合博物館
1階「知の交流」コーナー

入場無料

座席数は40席程度になります。
それ以上は立ち見になりますので
ご了承ください。

F. ケープラン (1668-1733)
偉大にして古き吟遊詩人組合の年代記

G.F. ヘンデル (1685-1759)
調子のよい鍛冶屋

A. カンプラ (1660-1744)
カンタータ第5番「アリオン」より

J.S. バッハ (1685-1750)
主よ、人の望みの喜びよ

J.M. オトテール (1674-1763)
フルートと通奏低音のための
組曲第1番 二長調 作品2の3

ポプラこの古の大志、札幌の地に生まれ
2004年 嵐によって倒れ
2006年 ここに蘇る
(チェンバロに刻まれたラテン語の銘文)

明治36年(1903年)に植林されて以来、樹齢100年に至る今日までポプラ並木は、本学のシンボルとして学生や市民に親しまれてきました。ところが、平成16年の台風18号により半数近くが倒壊してしまいました。

再生を願う声が全国から寄せられ、北大はポプラ再生事業に着手し、世界にも例を見ない30トンにもおよぶ倒木2本の立て直しに成功しました。倒れたポプラ並木を木工品として蘇らせるというプロジェクトも進められ、ポプラは様々な工芸品に生まれ変わります。その代表作が、チェンバロです。

チェンバロ製作のご提案は、北海道教育大学の市川信一郎教授から、製作は、横田ハーブシコード工房の横田誠三さんにお願ひしました。昔のヨーロッパでは、ポプラでチェンバロなどの楽器がつけられることもあったそうですが、現在ではめずらしい試みといえるでしょう。

完成まで2年の歳月が費やされ、キャンパスカラーの緑色で縁取りされたチェンバロには、100年の歳月を生き抜いたポプラの深みを感じられます。

(北海道大学総合博物館ホームページより)

チェンバロ	新妻 美紀 浅川 広子	ヴィオラ・ダ・ガンバ	松田 祥子
ハロック・トランペット	内藤由美子	メッツォ・ソプラノ	谷川千佳子
フラウト・トラヴェルソ	吉岡 充弘	ソプラノ	大友 弥生
ヴォイス・フルート	浅川 哲弥	バス	長竹 新